

油圧ブレーカー

Fx-α / Fxjシリーズ

(販売提携商品)



機種	Fx15α	Fx25α	Fx35α	Fx45α	Fx55α	Fxj95
総質量 (kg)	61	90	131	170	225	470
全長 (mm)	794	933	1,027	1,130	1,233	1,551
作動油圧 (MPa)	10~14	10~14	12~16	12~16	12~16	12~15
所要油量 (L/min)	10~28	18~35	24~52	30~60	40~85	45~90
打撃数 (min ⁻¹)	600~1,500	600~1,500	600~1,300	600~1,100	500~1,100	400~800
チゼル径 (mm)	36	45	52	60	68	90
バックヘッドガス圧(10°C) (MPa)	0.7	0.7	0.9	0.9	0.9	1.02
ホース径 (mm)	9	12	12	12	12	19
油圧ショベル推奨機種	Vi010-2A/17 SV08-1A/J09-A	Vi017/20-3 Vi025-6	Vi025-6 Vi030-6/35-6 B30U	Vi030-6/35-6 Vi045-6A/55-6A B30U/40U	Vi045-6A/55-6A B40U/60U	Vi080-1B SV100-2A

超低騒音油圧ブレーカー

Fxα-SS / Fxj-SS シリーズ



(販売提携商品)



機種	Fx25α-SS	Fx35α-SS	Fx45α-SS	Fx55α-SS	Fxj95-SS
総質量 (kg)	126	168	218	305	550
全長 (mm)	1,019	1,123	1,232	1,330	1,659
作動油圧 (MPa)	10~14	12~16	12~16	12~16	12~15
所要油量 (L/min)	18~35	24~52	30~60	40~85	45~90
打撃数 (min ⁻¹)	600~1,500	600~1,300	600~1,100	500~1,100	400~800
チゼル径 (mm)	45	52	60	68	90
バックヘッドガス圧(10°C) (MPa)	0.7	0.9	0.9	0.9	1.02
ホース径 (mm)	12	12	12	12	19
油圧ショベル推奨機種	Vi017/20-3 Vi025-6	Vi025-6 Vi030-6/35-6 B30U	Vi035-6 Vi045-6A/55-6A B30U/40U	Vi045-6A/55-6A B40U/60U	Vi080-1B SV100-2A
85dB(A)に達する騒音レベル位置(距離) (m)	6	6	6	7	9

騒音規制法では、特定建設作業の騒音が、敷地の境界線において85dBを超えないよう遵守するに於いては、実際の作業とは油圧ブレーカーの本体の設定条件や現場等の条件が異なり保証値ではありません。

● 騒音・振動低減効果

ボルトオンタイプのブラケットに比べ、打撃騒音と振動とを大幅に低減。
油圧ショベルへの負荷を低減するだけでなく、オペレーターの疲労を大幅に軽減する効果もあります。

※Fx45α-SS仕様とFx45αとの振動加速度を比較。



●油圧ブレーカーの運転には、「車両系建設機械(解体用)運転技能講習」と「車両系建設機械(整地・積込・運搬・掘削)運転技能講習」の両方の運転資格が必要。機体質量3トン未満の場合は、それぞれの運転特別教育を修了した方となります。●特定自主検査は厚生労働大臣または労働基準監督局長の登録を受けた検査業者で検査を行うよう義務づけられています。●超低騒音・低騒音油圧ブレーカーの表記については公的機関で認定されたものではありません。国土交通省の「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規定」とは異なります。●国土交通省の新技術情報提供システム【NETIS】の「活用促進技術」指定は、旧実施要領での技術位置付けとなるため(旧)が付与されています。●掲載写真の色は、撮影や印刷の関係で実際の色とは異なって見えることがあります。機械から離れる場合は、必ず作業装置を設置させるなど、安全に心がけてください。●本カタログの掲載写真および装備は、改良などによりお届けします製品と異なる場合があります。また、仕様は予告なく変更することがあります。

ヤンマー建機株式会社

〒833-0055 福岡県筑後市大字熊野1717-1
(ヤンマー建機お問合せ窓口) TEL: 0570-064360

- 北日本営業部 (〒983-0025) 宮城県仙台市宮城野区福田町南1-1-10 TEL (022) 259-7201
- 関東営業部 (〒382-0025) 埼玉県上尾市上尾下998-1 TEL (048) 778-4878
- 中部営業部 (〒487-0050) 愛知県海部郡瀬江町戸2丁目33番地 TEL (0567) 95-5355
- 西部営業部 (〒577-0066) 大阪府東大阪市高井田本通1-7-30 TEL (06) 6783-1121
- 九州営業部 (〒812-0857) 福岡県福岡市博多区西月隈1丁目5-8 TEL (092) 441-0928

●ヤンマー沖縄株式会社 (〒901-2223) 沖縄県宜野湾市大山7-11-12 TEL (098) 898-3111
yanmar.com

⚠ 安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 無理な運転は商品の寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
- 故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。
- 保証書は、ご購入の取扱い店で、必ずお受け取りください。

このカタログの仕様は、改良などにより、予告なく変更することがあります。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ



Hydraulic Breaker

油圧ブレーカー

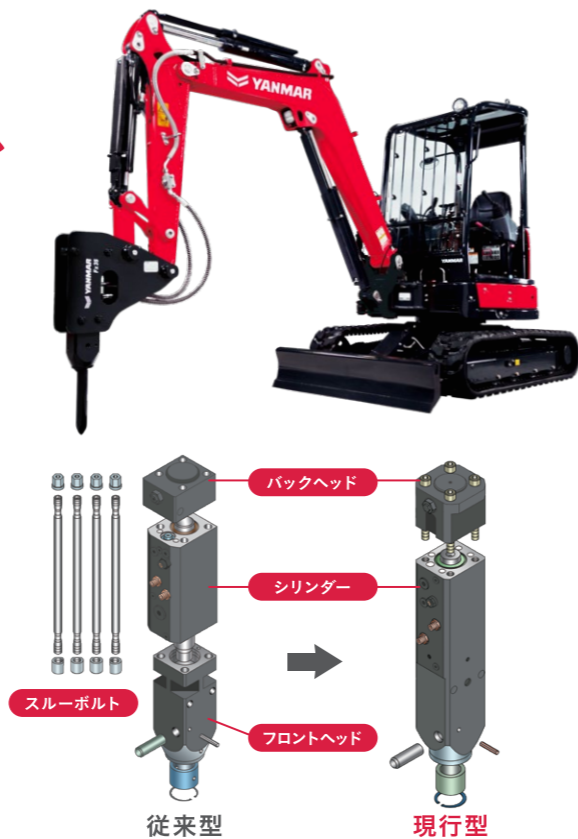
for EXCAVATORS



Fx-α / Fxjシリーズ

小型油圧ブレーカーに求められる
全ての性能を高い次元で実現した、
“スルーボルトレス+アキュムレータレス”の
シンプルな本体構造を持つ
高機能油圧ブレーカーです。

- 高剛性の一体型シリンダー&シリンダーライナー方式の採用。
- ピストンのセンタリング機構を更に進化。安定した高打撃性能を実現。
- 油圧ショベルの油量レンジのワイド化にベストマッチング。
- モノブロック構造による低騒音を実現。
- バックヘッドガス圧の高圧化による高い破碎性能を実現。
- 部品点数が少ないシンプルな構造。
ランニングコスト、メンテナンスコストの低減に貢献。



超低騒音タイプ

Fxα-SS / Fxj-SSシリーズ

SS-Box
スーパーサイレント
【SS-Box仕様】

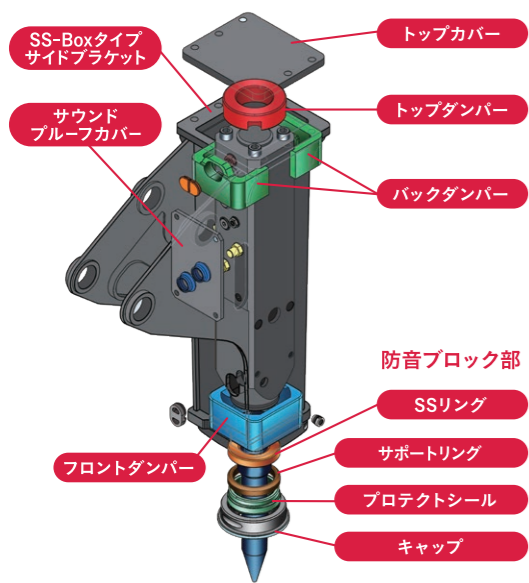
『超低騒音油圧ブレーカーを用いた解体・掘削工法』が
NETIS「H25活用促進技術(旧)」に指定されています。

NETIS 登録
超低騒音

H25活用促進技術(旧) TH-090016-VR

●技術の位置付け

超低騒音油圧ブレーカーの開発により、今まで騒音問題で敬遠されていた都市部でのビル解体工事や掘削作業等に積極的に活用できるようになり、国土交通省の公共工事等における新技術活用システム「NETIS」に申請しました。公共工事で活用実績が積み重ねられたことにより活用効果評価が実施され、2013年4月からは有用な新技術の『活用促進技術』に位置付けとなりました。平成26年度より、旧実施要領の技術には(旧)を表記することになりました。



不快と感じる金属打撃音域を低減し
音質を軟らかくする静音技術に、
スルーボルトレス化による油圧ブレーカー本体から
発生する音と振動を低減する技術をプラスしました。

●密閉型ボックスフレーム構造

ブレーカー本体を密閉型のボックスフレーム構造のブラケットに取めました。不快と感じる金属打撃音(高周波音域)を低減、抑制します。

●耐遮音・耐防振ダンパーの採用

遮音性・防振性に優れたダンパーが油圧ブレーカー本体をしっかりと保持します。大型の特殊ダンパーで打撃部を包み込むことで、金属打撃音を低減し音質を柔らかくする効果もあります。

●大型プロテクトシール

大型のプロテクトシールで構成された防音ブロック部の動きによりフロント下部からの音漏れを低減。より一層の静音化を実現しています。

ヤンマー油圧ショベルのオプション

プロモーションムービー
サイトへのアクセスはこちらから。
QRコードを読み込んでください。



※対応するオプションは型式により異なります。

●ブレーカーの付け替えが素早く・簡単にできる油圧クイックヒッチ(オプション)



●バケットの取り外し



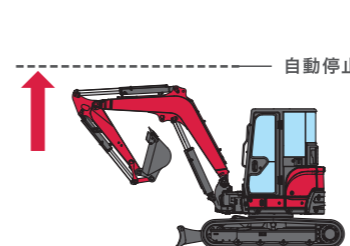
●バケットの取り付け



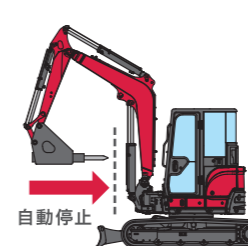
●ブーム高さ・アーム巻込み制限機能(オプション)

設定位置でブーム・アームが自動停止するので
ブレーカー装着時でも安全に作業できる

ブーム高さ制限



アーム巻込み制限



ブーム高さ制限はエンジン停止後設定が解除されます

●労働安全衛生規則(解体用)対応 フロントガード仕様(オプション)

現在お持ちの機械※にも後付可能です。
※2柱キャノピー仕様・キャビン仕様のみ



2柱キャノピー用フロントガード
TOPS※3/ヘッドガード※4
規格準拠



4柱キャノピー用
フロントガード
ROPS※1/FOPS※2
規格準拠

キャビン用
フロントガード
ROPS※1/FOPS※2
規格準拠

油圧ブレーカーをうまく使うポイント

●作業前点検を必ず行う



ストッピング、ラバープラグ類
や各所のボルト・ナットの弛み
や脱落はありませんか?

●グリス給脂を確実に行う



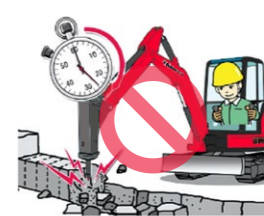
作業中は2~3時間ごとにグリスを
給脂してください。グリス給脂は、
チゼルを押し付けた状態で行います。

●暖機運転を行う



始業時には10分程度ブレーカー
のならし運転を行って油温を温
めてください。ホースの振れや異
音、いつもと違った様子がない
か確認してください。

●30秒以上連続打撃しない



割れないときはチゼルを当てる位
置を変えてください。連続打撃は
チゼルの異常摩耗と油温上昇の
原因となります。

作業前に取扱説明書を
読んで、機械の操作や
注意事項を十分理解してから
作業を行ってください。



※写真はオプションを装着しています。※実際の販売モデルとは形状が異なる場合があります。

※1 ROPS (Roll-Over Protective Structures) : 転倒時にシートベルトを装着したオペレータを保護する構造 ※2 FOPS (Falling Object Protective Structures) : 落下物保護構造
※3 TOPS (Tip-Over Protection Structure) : 横転時乗員保護構造 ※4 ヘッドガード: 労働安全衛生法ヘッドガード基準